

## 口永良部島の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

本日（5日）午後、気象庁機動調査班（JMA-MOT）は鹿児島県の協力を得て口永良部島上空からの調査を実施し、3日の噴火に伴う火砕サージ※の痕跡を新岳火口付近で確認しました。

3日の噴火以降、地震計や空振計の観測から噴火は発生していないと考えられます。

### 【防災上の警戒事項等】

新岳火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

また、火砕サージに注意してください。風下側では火山灰だけでなく、小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

## ○ 活動概況

### ・上空からの調査（図1～4）

本日（5日）午後、気象庁機動調査班（JMA-MOT）は鹿児島県の協力を得て口永良部島上空からの調査を実施し、3日の噴火に伴う火砕サージの痕跡を新岳火口付近で確認しました。また、新岳の南西から西にかけての範囲で、火山灰や火山ガスによる樹木の変色を確認しました。

新岳火口の北から北東側にかけての範囲は、雲のため詳細については確認出来ませんでした。

### ・噴煙など表面現象の状況

噴火以降、地震計や空振計の観測から噴火は発生していないと考えられます。遠望カメラでの観測では、本日（5日）、白色の噴煙が火口縁上50mまで上がり、北東へ流れました。

※ 火砕サージ：火山ガスと火山灰等との混合物で、火山ガスの比率が高く高速で流下する現象。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『基盤地図情報（縮尺レベル 25000）』『基盤地図情報10mメッシュ（標高）』、を使用しています（承認番号：平23情使、第467号）。



図 1 口永良部島 新岳火口付近の状況（8月5日14時34分）  
新岳火口付近では、火砕サージの痕跡を確認しました。



図 2 口永良部島 新岳山麓付近の状況（8月5日14時32分）  
新岳の南西から西にかけての範囲で火山灰や火山ガスによる樹木の変色を確認しました。



図3 口永良部島 新岳山麓付近の状況（8月5日14時38分）  
新岳の南西から西にかけての範囲で火山灰や火山ガスによる樹木の変色を確認しました。

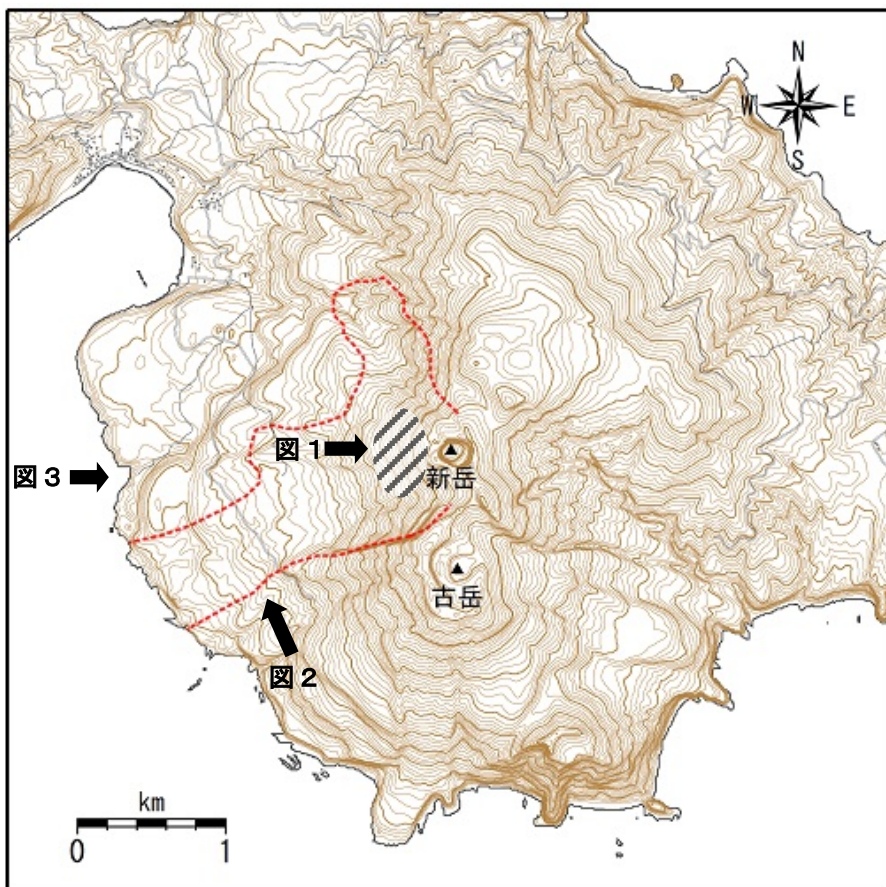


図4 口永良部島 写真撮影方向  
火砕サージによる樹木の焼失が確認できたおおよその範囲（黒斜線）  
火山灰や火山ガスによる樹木の変色を確認した範囲（赤破線内）